

中学校英語科における

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 Vol.2

～「見方・考え方」を働かせ、言語活動を通して、「深い学び」を実現するために～

1 「深い学び」の実現に向けて

授業改善の視点

具体的な課題等を設定し、生徒が「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせながら、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現、文法の知識を五つの領域における実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図る

「深い学び」を実現した生徒の姿

- ・ コミュニケーションを行う相手の文化的背景や状況、関心などを捉えている。
- ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、どのような内容を、どのような表現で伝えたらよいのか考えている。
- ・ 目的に応じて、聞いたり読んだりし、それを基に自分の考えなどを形成している。
- ・ 他者との対話を通して、表現内容や使用言語を見直し、再構築している。

2 「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」とは

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編」p.10より引用

コミュニケーションを行う相手の背景にある文化を理解し、多様な価値観を尊重すること

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること

田村岳充「5つの実践例から学ぶ 生徒と共に創る英語授業」p.82を基に作成

3 「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせ、言語活動を通して、「深い学び」を実現するために

POINT①

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定する。

POINT②

対話を通して得た気づきを基に、自分の考えなどを再構築する場面を設定する。

POINT①

コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にした言語活動を設定する。

以下、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を「見方・考え方」、「コミュニケーションを行う目的や場面、状況等」を「目的・場面・状況」と示します。

「話すこと[発表]」の例

【言語活動】 夏休みに、ALT の家族がカナダから初めて来日します。ALT の家族のために、日本の伝統文化を楽しむことができる観光地を ALT に紹介しましょう。

導入において

「見方・考え方」を働かせている生徒の姿



Today, let's introduce some good places to visit in Japan to our ALT.



ALT は、よく家族と自然を楽しめる場所に出かけるって話していたな。だから、日本の伝統文化と自然の美しさを感じられる場所を紹介してみようかな。

ALT やその家族の文化的背景や関心に配慮しながら、紹介する観光地を検討している。



「目的・場面・状況」を明確にすると

どのような内容を、どのような表現で、どのように伝えるかを思考したり判断したりしながら、自分の考えなどを形成し、表現することができる。

「読むこと」の例

【言語活動】 ブラウン先生が書いたロボットについての記事を読み、ブラウン先生の考えに対する自分の考えを伝え合いましょう。

概要を捉える活動のあと

「見方・考え方」を働かせている生徒の姿



Read the journal again. This time, find the most important sentence. What does Mr. Brown want to tell you the most?



いろいろなロボットが紹介されているけど、ブラウン先生が1番伝えたいことは何だろう。“I think”や“should”など、主張や意見を表す語句に着目して読んでみよう。

発問を手掛かりに、記事の中の主張や意見を表す語句に着目しながら、ブラウン先生の伝えたいことを捉えようとしている。



「目的・場面・状況」を明確にすると

文章全体をただ読み進めるのではなく、「何を読み取るのか」や「何のために読むのか」といった視点をもち、目的に応じた読み方ができる。

POINT②

対話を通して得た気づきを基に、自分の考えなどを再構築する場面を設定する。

対話を通して得た気づきを基に、メール文を再構築している場面の例

【言語活動】 留学生のアンナが安心して来日できるように、私たちの学校生活を紹介するメールを送ろう。

メール文を書く。

生徒Aのメール文(一部)

Our school starts at 8:10. We study English, math, and Japanese every day. You can ...

友達からアドバイスをもらう。

メール文を再構築する。

再構築した生徒Aのメール文(一部)

Our school starts at 8:10, and ends at 15:50. We study English, math, and Japanese every day. We clean the classroom after class. You can enjoy our ...

※実線:改善した表現
点線:追記した内容

【グループでの意見交換の場面】

(生徒Aのメール文を共有したあと)



What do you think? Do you have any advice?



It's good. But “school”の“h”が抜けているよ。内容については、学校が終わる時刻も書いてほしいかな。



授業のことだけでなく、制服があることや掃除の時間があることも伝えよう。日本の学校生活についてもっとイメージできるんじゃないかな。



I see. Thank you for your advice.

「見方・考え方」を働かせている生徒の姿



学校が終わる時刻を書いて、授業以外のこととして授業のあとにみんなで掃除をすることも伝えよう。書き終えたら文章全体の構成についてもアドバイスをもらおう。

意見交換で得た気づきを基に、メールの内容を再構築している。



対話での気づきを基に、自分の考えなどを再構築する場面を設定

既習事項と、新たに得られた知識を活用しながら、内容面と言語面から改善を図り、パフォーマンスの質を高めることができる。